

若者コーナー

地域貢献続け
発信していく

浪床一歌 中学1年生

(天草市)

私は「社会を明るくする運動」の作文コンテストで表彰を受けました。

私の作文は、あいさつは人の心を明るくする大事なコミュニケーションの一つであり、みんながあいさつを交わすことで地域は明るく前向きになり、居心地の良い社会につながるという内容です。

地域の方が声をかけてくれたり、登校途中に私に気づいて手を振ってく

れたりするとうれしくなれます。地域の方に見守られている安心感が、気分がのらない日でも前向きに頑張ろうという気持ちにさせてくれます。

作文コンテストの表彰式では、他校の生徒の作文発表も聞きました。その中の一つは、ボランティア活動を通して自然を守るというタイトルで、

自然を守ることが誰かの心の癒やしにつながるという内容でした。

私自身も美しい自然によって気持ちが穏やかになったり、落ち着いたりします。今回の発表を聞いて、改めて自然を守る活動の重要性に気づくことができました。

表彰式に参加して、あいさつの大切さを伝えることができ、さらに自然を守る活動の大切さにも気づかされました。

先日は地域のごみ拾い活動に参加しました。ごみは少なかつたけれど、地域の人と楽しく会話をしながらごみ拾いをしました。ごみがなくなると、とてもすがすがしい気持ちになりました。

みんなが明るく元気な気持ちになるあいさつ

や、心の癒やしにつながるボランティアなど、今の私にできる地域貢献をこれからも続け、発信していこうと思います。